

製品の取り組み

お客様に環境負荷の少ない製品・サービスを提供するため、お取引先とともにグリーン調達に取り組んでいます。

「環境行動計画」への取り組み

エネルギー／資源効率向上の追求

「第10期環境行動計画」では、世界の多くの国と地域でICT製品のエネルギー効率規制が強化される中、製品使用時消費電力によるCO₂排出量削減を目的とした製品の省エネルギー化はメーカーとして必須の取り組みであることから、エネルギー効率がトップレベルとなる製品の開発に取り組み、目標を達成することができました。

また、資源の枯渇、原材料の高騰、レアメタルの供給不安など社会や企業の持続可能性を脅かすリスクが高まる中、資源を効率よく利用していくことが重要なため、製品の3R（リデュース・リユース・リサイクル）設計にも取り組み、同じく目標を達成しました。

製品紹介

「寄り添う、すべての人に」をコンセプトにした次世代ATM FACT-X

キャッシュレス時代における次世代ATMのFACT-Xは、従来のキャッシュポイントとしての役割に加え、銀行の窓口業務のATMへのシフトにも対応可能、新たなタッチポイントとしてATMをご活用いただくことで、お客様サービスの向上ならびにチャネル改革を提供します。

FACT-Xの開発においては、製品のエネルギー効率の向上を目的に、従来機種から継続採用となった、利用者不在時に電源をオフにする「スーパーエコモード」機能に加え紙ジャーナルから電子ジャーナルへの完全移行やSSDの採用など、機能や部品レベルでの見直しを行いました。製品の資源効率の向上に向けては、筐体部品の点数削減および薄肉化などを実行し、環境負荷の低減に努めました。



SDGsに貢献する要素(例)

12

つくる責任
つかう責任

筐体部品の点数削減および薄肉化などによる資源効率の向上

13

気候変動に
具体的な対策を

「スーパーエコモード」機能の搭載および、機能や部品レベルの見直しによる省エネの追求

グリーン調達

富士通グループでは、環境に配慮した部品・材料や製品の調達に関する基本的な考え方を「富士通グループグリーン調達基準」としてまとめ、国内外のお取引先とともにグリーン調達活動を推進しています。

2022年度は、2021年度に引き続き「責任ある鉱物調達」を推進しました。具体的には、お取引先各位へ紛争鉱物調査へのご協力をお願いし、紛争と関わりのある鉱物は調達していないとご回答をいただきました。

また、CSR調達の強化および「第10期環境行動計画」推進のため、富士通株式会社が主催の大規模なアンケート調査を行い、お取引先に対して、富士通グループとともにSDGsやコンプライアンスに反しない調達活動を進めていくことについて意識を高めていただきました。

含有化学物質管理

含有化学物質管理システムの構築

製品の部材系調達にかかわるお取引先には、化学物質を適正に管理していただくため、JAMP*1が業界標準として定める「製品含有化学物質管理ガイドライン」に基づく含有化学物質管理システム（CMS*2）の構築をお願いし、サプライチェーンにおける製品含有化学物質の管理を強化しています。

*1：JAMP／ア－ティクルマネジメント推進協会 (Joint Article Management Promotion-consortium)

*2：CMS／製品含有化学物質管理システム (Chemical substances Management System)

含有化学物質情報の入手

法規制を順守し含有規制物質による人の健康への悪影響や、環境汚染を未然に防止することを目的に、お取引先のご協力のもとJAMPが運用する情報伝達スキームchemSHERPA*3などにより製品の含有化学物質情報を調査し、入手情報は社内システムにて共有しています。

*3：Chemical information Sharing and Exchange under Reporting Partnership in supply chainの略称で「製品含有化学物質情報伝達の共通スキーム」の意。

お取引先とのコミュニケーション

2019年度まで対面にて毎年開催していた「お取引先懇親会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、2021年度同様「事業説明会」としてオンライン開催し、当社グループの事業方針と調達方針についてお取引先へ説明しました。また、当社の事業活動に対し顕著な貢献のあったお取引先に対し、感謝状と記念品を贈呈しました。